

# 沼田町防災情報

1923年9月1日に発生した「関東大震災」を教訓にして、災害への心構えを忘れないように、毎年9月1日は防災の日、9月の1カ月は防災月間に指定されています。

9月は、日本列島を覆う太平洋高気圧の勢力が弱まり、一年の中で最も台風が多い時期です。

災害が発生するたびに食料品や防災用品が商店から姿を消してしまいます。そうなった時に慌てなくて良いように、この「防災月間」をきっかけに、自分自身の「災害時の備蓄」「災害時の行動」について考えてみましょう。

## ■いざというときのために日頃から「備え」を万全にしておきましょう。

**備蓄品** \*数日間を自活するためのもので最低でも3日分を用意しましょう。

 <p>● <b>燃料</b> 卓上コンロ、スベアガス、固形燃料など</p>	 <p>● <b>洗面具</b> 歯ブラシ、タオル、石鹸など（避難所にはありません）</p>	 <p>● <b>水</b> 飲料水は1人当り一日約3リットルが目安です。</p>	 <p>● <b>暖房</b> 暖房器具、使い捨てカイロなど</p>	 <p>● <b>食料品</b> 米、アルファ米、レトルト食品、カップ麺、菓子類など保存期限の長いもの</p>
--	--	---	---	---

## ■台風が接近！大雨が予想される場合

### 1 ラジオ、電池の備えを!

停電に備え、携帯ラジオ、電池の準備を。



### 2 気象情報を聞く

気象情報を注意深く聞きましょう。また、町の防災無線などの呼びかけを聞きのがさないよう注意しましょう。



### 3 早めの準備を!

避難に備えて非常持出品の準備を。



### 4 すみやかな行動を!

避難準備情報や避難勧告が出たらすみやかに行動を。特に河川の付近では注意。



### 風の強さと吹き方

平均風速 15~20 m/s  
風に向かって歩けない。転倒する人もでる。小枝が折れる。

平均風速 20~25 m/s  
しっかりと身体を確保しないと転倒する。窓ガラスが割れる恐れもある。

平均風速 25~30 m/s  
立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。